

「農業用温室の設置コスト低減に向けた技術提案会」 提案資料

提案者名: エスアールジータカミヤ株式会社 環境営業部 吉田剛、
ホリー株式会社 開発本部 南雲隆司

問い合わせ先 :
エスアールジータカミヤ(株) 環境営業部アグリ事業課
電話: 03-3276-3928、メールアドレス: tu-yoshida@srg.jp

提案事項: 農業用温室本体の設計から施工までの一貫体制による設置コスト低減

提案内容

「農業競争力強化プログラム(平成28年11月29日決定)」中の「生産資材価格の引下げ」に関する弊社の取り組みについて紹介します。

弊社は、足場や支保工などの建設用仮設機材の販売・レンタルを行ってきた経験を活かし、農業用温室の分野に参入しました。現在、農業用温室の設計・開発、製造、販売、施工業務を行っています。その中で、農業用温室本体の設置コスト低減に向けて、温室の標準化と設計から施工までの一貫体制を整えることによる全体コストの削減に取り組んでおります。

設計・開発については、自社内で構造解析から強度試験を行い、風速・積雪等への強度毎に間口・軒高等の形状を標準化します。製造・販売については、標準化された各部材を自社工場で量産し、コストを低減します。施工については、自社の工事部や協力会社のネットワークを活用し、研修で施工技術を統一することで、施工効率を向上します。

設計から施工まで、弊社グループが一丸となり上記のような一貫体制をとることで、農業用温室本体の設置コスト30%低減を目指して参ります。

- 期待される効果
- ①温室の標準化による量産化及び業務の効率化による温室本体のコスト低減
 - ②設計から施工までの一貫体制による温室本体のコスト低減

パイプハウス本体(材工)	10a当たりの導入コスト	現状同規格価格	→	目標30%減
鉄骨ハウス本体(材工)	10a当たりの導入コスト	現状同規格価格	→	目標30%減

農業用温室本体の設計から施工までの
一貫体制による設置コスト低減

設計開発



製造



販売



施工



**設計から施工までの一貫体制により
温室本体の設置コスト30%低減**